

パートナー様向け・AMDあれこれ情報

AMDのロードマップは？	2017年のEPYCリリース以来、2019年には第2世代プロセッサを計画通りリリースし、既に第4世代のロードマップまで表明されています。HPEとAMDはEPYCプロセッサにおいて、長期戦略に基づいた製品の開発を共同で進めています。今後の製品展開にぜひご期待ください。
販売実績は？ 紹介できる事例は？	各国の政府・研究機関、そして国内も含め世界中に既存のお客様も多く、ビジネスは非常に好調です。HPC・製造CAE系から、サービスプロバイダー、仮想化・DBなど、ユースケースも多数あります。国内公開事例を掲載・順次追加していますので、お客様にもぜひご紹介ください。 HPEサーバー 国内事例 https://www.hpe.com/jp/ja/solutions/amd.html
アプリの稼働は？ パフォーマンスは大丈夫？	HPC、CAEに始まり、仮想化やDBなど、エンタープライズ系のアプリケーションの実績や技術情報なども充実してきています。 AMD EPYC プロセッサ 稼働アプリケーション https://www.amd.com/en/processors/server-tech-docs/search また、インテルCPU最新世代と総クロック数で比べても全く遜色ありません（Spec情報など業界標準ベンチマーク値が開示されています）。 AMD EPYCのパフォーマンスに関して https://www.hpe.com/jp/ja/solutions/amd.html https://www.amd.com/ja/products/epyc-benchmarks
How to Sell や販売に役立つコンテンツ どこを見たらいいの？	HPE x AMD パートナー倶楽部のオンデマンド配信にて、営業が語る実販売談やHow to sellなどの販売に役立つコンテンツ（トレーニング動画及び資料）がまとまっています。 "HPE x AMD パートナー倶楽部"関連資料 https://h50146.www5.hpe.com/partners/seminar/download/
お客様向けに紹介できる資料がほしい	HPEのパートナー様限定ポータルサイト（HPE Partner Ready Portal）に、標準コアプレゼンテーション資料を掲載しております。また、以下のリンクでもご確認いただけますので、ぜひご活用ください。 標準コアプレゼンテーション資料 https://h50146.www5.hpe.com/partners/seminar/pdf/AMD.zip
Intelと性能は変わらない？ (置き換えは簡単?)	仮想化などのエンタープライズ用途の場合、CPUクロックとコア数が同じであれば、パフォーマンスに関する特別な換算はせずにそのまま置き換えが可能です。エビデンスはこちらの倶楽部トレーニング資料をご確認ください。 CPU比較・置き換え表 資料: https://h50146.www5.hpe.com/partners/seminar/download/pdfs/O2-reference.zip → 第2回オンラインセミナーの資料ダウンロードページにリンクしています。 構成のご相談などの技術的なご支援や製品に関するお問い合わせは、以下の窓口をぜひご利用下さい。 HPE x AMD パートナー倶楽部専用窓口 03-6743-9990 受付時間: 9:00~18:00（土日・祝日、年末年始、弊社指定休日を除く） Eメール: jp.partners.AMD@hpe.com
インテルから置き換える場合、 どのくらい安くなりますか？	他社CPU搭載HPEサーバーと比較すると、AMD搭載HPEサーバーは約35%の価格削減が可能です（売れ筋の16コアサーバーで定価で比較した場合）。さらにソフトウェアライセンスの圧縮も見込めますのでシステム全体でコストが抑えられます。価格要件の厳しい案件でも、AMD製品ならお客様のお求めのスペック+αが満たせます。
AMDを積極提案した方が 良い用途は何でしょう？	個別のPoCなどを必要としない、仮想化・VDI・ファイルサーバーなどの汎用的なエンタープライズワークロードについては導入しやすいです。VMwareなどのインフラツールはCPU単位で販売されているものが多いため、提案価格を大幅に削減できます。Windows Serverライセンスはコア単位での販売ですが、期間限定ながらAMDマシン用のお得なライセンスもご用意しています。また、HPCやService Provider基盤なども用途によって魅力的です。本格的なPoCが必要になりますので腰を据えて戦略的に望む必要があります。
逆にAMDの提案にあたって 注意した方が 良い用途はありますか？	ユーザー様のご利用アプリケーションが一般的なものではなく、専門性の高いものについては注意が必要です。HPCなどは非常に戦略的に提案できる一方でPoCなどのプリセールス投資が必要なことにご注意ください。また、eVDIなどのエンジニア向けアプリケーションについては、AMDマシンでの最新の認定状況を都度確認するようにしましょう。
検証機はどのように準備すればよいですか？	HPE x AMDパートナー倶楽部様向け特典として、検証機無償貸出をしております。ご希望の方はパートナー事務局までご連絡ください。 日本ヒューレット・パカード HPEパートナー事務局 受付時間: 10:00~12:00/13:00~18:00（土日・祝日、年末年始、弊社指定休日を除く） Eメール: jp.partners.office@hpe.com